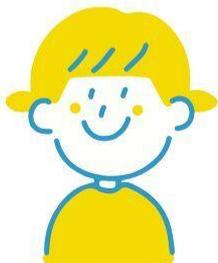




令和7年度 奈良県幼・小・中・義務教育学校

教育課程研究集会

小・中 総合的な学習の時間



学習指導要領の趣旨を踏まえた 指導の在り方について

奈良県教育委員会事務局
義務教育課
授業力向上係
指導主事 有留 正樹

○総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを旨とするを**明確化**。

○探究の過程(「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」)のうち、「整理・分析」、「まとめ・表現」に課題が見られたことを踏まえ、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動(「考えるための技法」の活用を含む。)等を**明確化**。

○総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すことを**明確化**。

○探究の過程(「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」)のうち、「整理・分析」、「まとめ・表現」に課題が見られたことを踏まえ、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動(「考えるための技法」の活用を含む。)等を**明確化**。

総合的な学習の時間の目標について

小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第1 目標

中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び
技能

(1) **探究的な学習**の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

思考力、判
断力、表現
力等

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

学びに向かう力、
人間性等

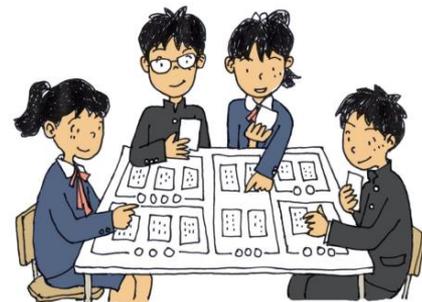
(3) **探究的な学習**に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

探究的な学習

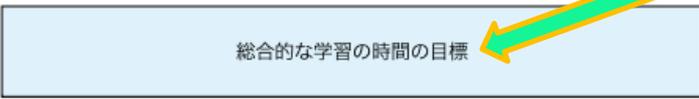
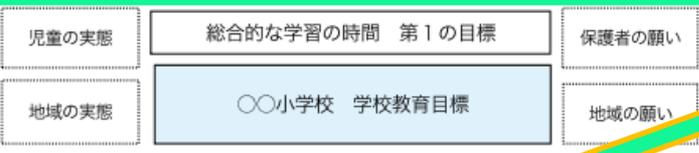
問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動であり、物事の本質を探って見極めようとする**一連の知的営み**。

探究的な学習の指導のポイント

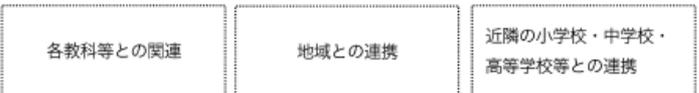
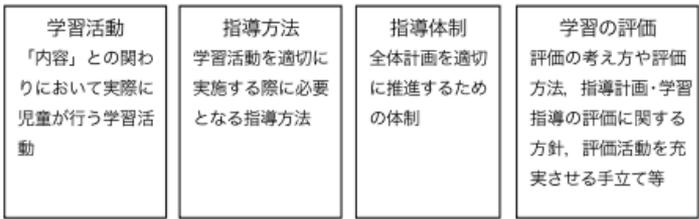
- ①学習過程を探究的にすること。
- ②他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること。



学習指導要領を踏まえた、総合的な学習の時間の全体計画について



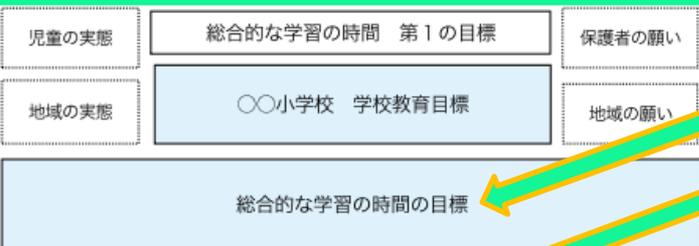
内容				
学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第3学年	○○○			
第4学年	△△△			
第5学年	□□□			
第6学年	◇◇◇			



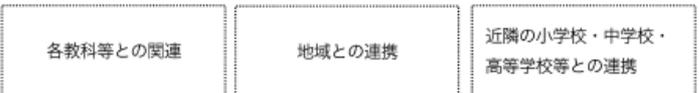
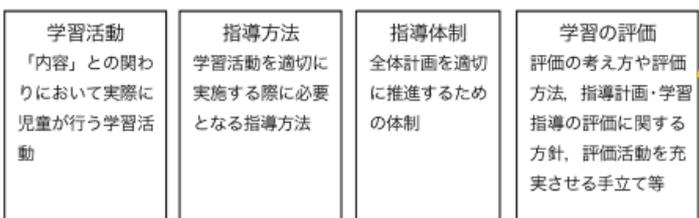
- 各学校で定める目標や内容は、以下の第2の3(1)・(4)・(6)を踏まえる。
- (1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。
 - (4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。
 - (6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。
- ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすること。
- イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。
- ウ 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

- 資質・能力と学習活動と関係は、以下の第3の1(2)・(4)を踏まえる
- (2) 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。
 - (4) 他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。

学習指導要領を踏まえた、総合的な学習の時間の全体計画について



内容				
学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第3学年	○○○	／	／	／
第4学年	△△△	／	／	／
第5学年	□□□	／	／	／
第6学年	◇◇◇	／	／	／



各学校で定める目標や内容は、以下の第2の3(1)・(4)・(6)を踏まえる。

(1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。

(4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。

(6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。

ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすること。

イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。

ウ 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

資質・能力と学習活動と関係は、以下の第3の1(2)・(4)を踏まえる

(2) 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。

(4) 他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。

学習過程を探究的にすること

全体計画・年間指導計画を踏まえる

三つの視点から、中心となる活動を思い描く

児童生徒の
興味・関心

教員の意図

教材の特性

探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く

児童生徒の関心
や疑問を生かす

意図した学習を
効果的に生み出す



単元構想の実現が可能かどうか検討する

単元計画としての学習指導案を書き表す

単元の実践

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

指導計画の評価と改善

児童生徒の興味・関心

- ・児童生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する。

教員の願い

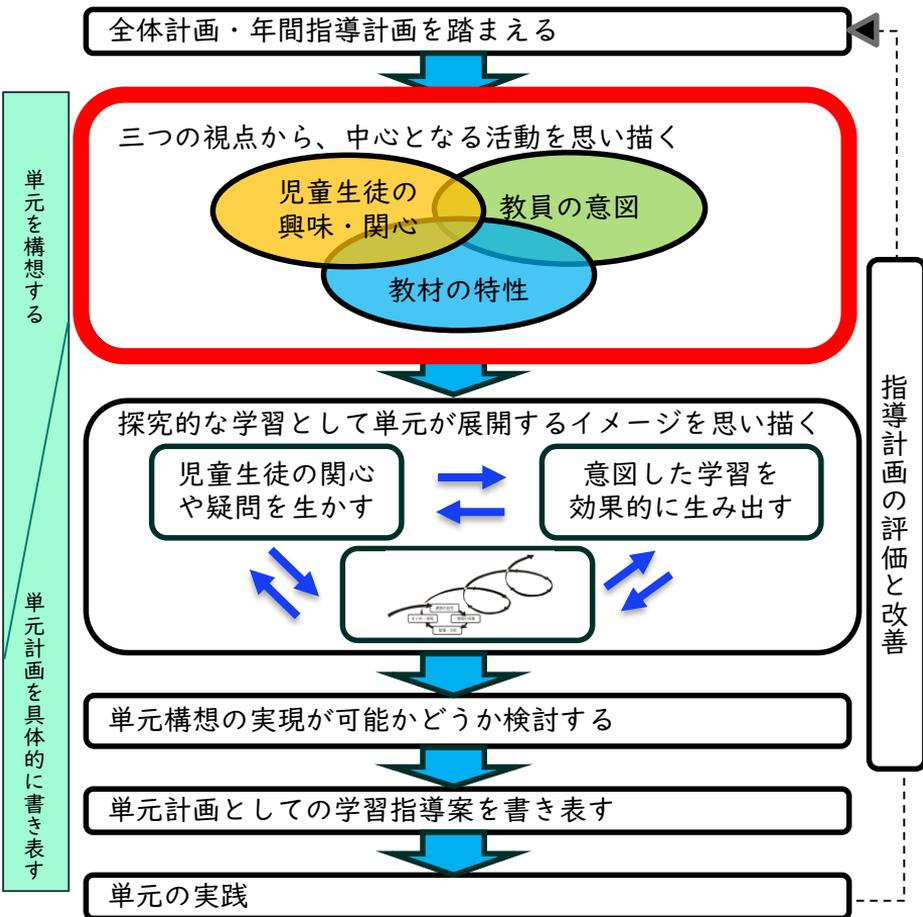
- ・どんな資質・能力を育てたいのか？
- ・授業のイメージを学年で共有する

教材の特性

- ・教材と出会う姿を思い描く
- ・教材がふさわしいかをウェビング等で確かめる



学習過程を探究的にすること



児童生徒の興味・関心

- 児童生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する。

教員の願い

- どんな資質・能力を育てたいのか？
- 授業のイメージを学年で共有する

教材の特性

- 教材と出会う姿を思い描く
- 教材がふさわしいかをウェビング等で確かめる



学習過程を探究的にすること

全体計画・年間指導計画を踏まえる

三つの視点から、中心となる活動を思い描く

児童生徒の
興味・関心

教員の意図

教材の特性

探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く

児童生徒の関心
や疑問を生かす

意図した学習を
効果的に生み出す



単元構想の実現が可能かどうか検討する

単元計画としての学習指導案を書き表す

単元の実践

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

指導計画の評価と改善

児童生徒の興味・関心

- ・児童生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する。

教員の願い

- ・どんな資質・能力を育てたいのか？
- ・授業のイメージを学年で共有する

教材の特性

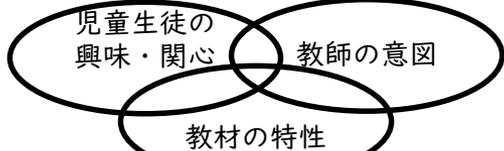
- ・教材と出会う姿を思い描く
- ・教材がふさわしいかをウェビング等で確かめる



学習過程を探究的にすること

全体計画・年間指導計画を踏まえる

三つの視点から、中心となる活動を思い描く



単元を構想する

児童生徒の関心
や疑問を生かす

意図した学習を
効果的に生み出す



単元計画を具体的に書き表す

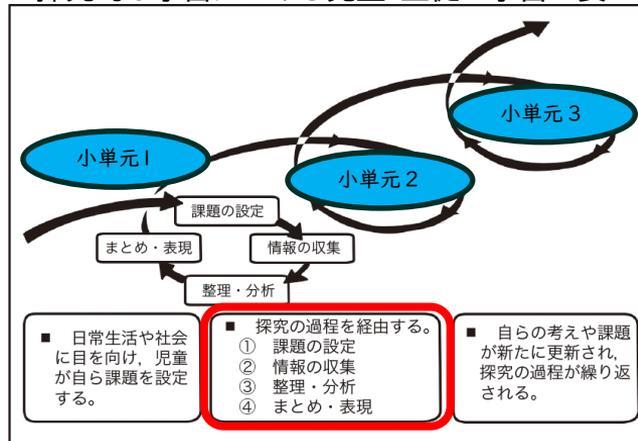
単元構想の実現が可能かどうか検討する

単元計画としての学習指導案を書き表す

単元の実践

指導計画の評価と改善

探究的な学習における児童・生徒の学習の姿

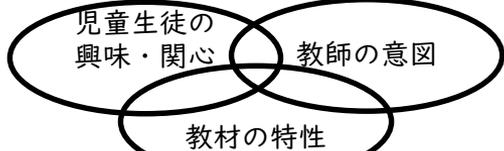


- ①課題の設定
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②情報の収集
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③整理・分析
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④まとめ・表現
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

学習過程を探究的にすること

全体計画・年間指導計画を踏まえる

三つの視点から、中心となる活動を思い描く



単元を構想する

児童生徒の関心
や疑問を生かす

意図した学習を
効果的に生み出す



単元計画を具体的に書き表す

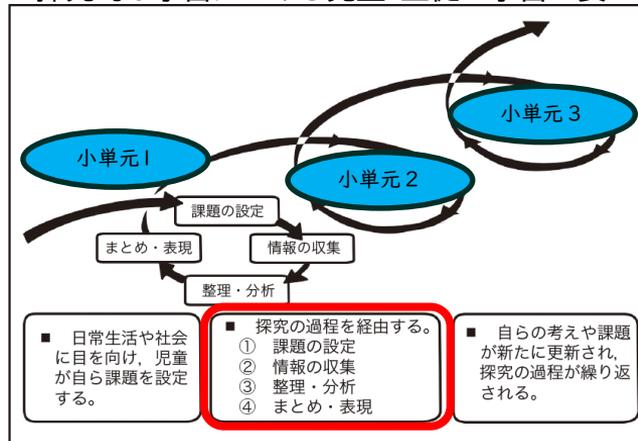
単元構想の実現が可能かどうか検討する

単元計画としての学習指導案を書き表す

単元の実践

指導計画の評価と改善

探究的な学習における児童・生徒の学習の姿



- ①課題の設定
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②情報の収集
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③整理・分析
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④まとめ・表現
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

(1) 多様な情報を活用して協働的に学ぶ

学級集団での協働的な学習を有効に機能させ、多様な情報を適切に活用する。

(2) 異なる視点から考え協働的に学ぶ

物事の決断や判断を迫られるような話合いや意見交換で、互いの考えを深める。

(3) 力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶ

一人でできないことも集団で実現できることは多い。

児童生徒同士で解決できないことも地域の人や専門家などとの交流を通じて学ぶ。

(4) 主体的かつ協働的に学ぶ

(1)から(3)で目的・内容・方法などを繰り返し問う。



他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

(1) 多様な情報を活用して協働的に学ぶ

学級集団での協働的な学習を有効に機能させ、多様な情報を適切に活用する。

(2) 異なる視点から考え協働的に学ぶ

物事の決断や判断を迫られるような話合いや意見交換で、互いの考えを深める。

(3) 力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶ

一人でできないことも集団で実現できることは多い。

児童生徒同士で解決できないことも地域の人や専門家などとの交流を通じて学ぶ。

(4) 主体的かつ協働的に学ぶ

(1)から(3)で目的・内容・方法などを繰り返し問う。



他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

(1) 多様な情報を活用して協働的に学ぶ

学級集団での協働的な学習を有効に機能させ、多様な情報を適切に活用する。

(2) 異なる視点から考え協働的に学ぶ

物事の決断や判断を迫られるような話合いや意見交換で、互いの考えを深める。

(3) 力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶ

一人でできないことも集団で実現できることは多い。

児童生徒同士で解決できないことも地域の人や専門家などとの交流を通じて学ぶ。

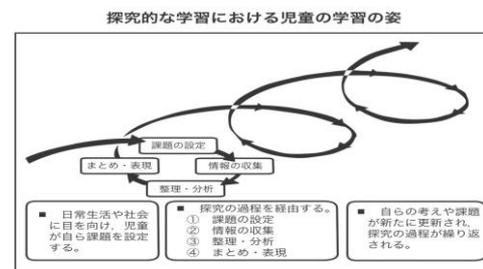
(4) 主体的かつ協働的に学ぶ

(1)から(3)で目的・内容・方法などを繰り返し問う。



総合的な学習の時間における「探究的な学習」の一層の充実に向けた指導の工夫

- ① 学習過程を探究的にすること。
…中心となる活動・探究的な学習



- ② 他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること。
…多様な情報、異なる視点、集団、地域の人、専門家

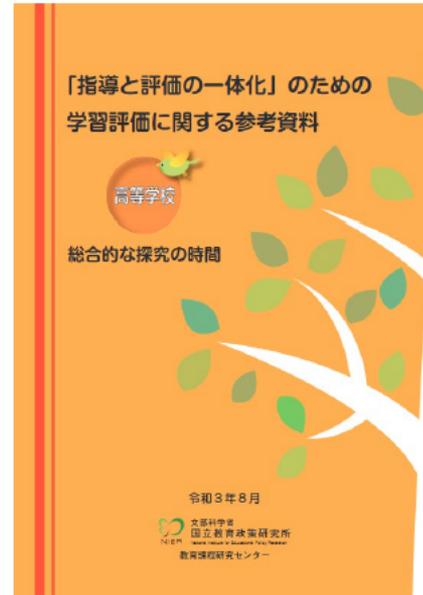
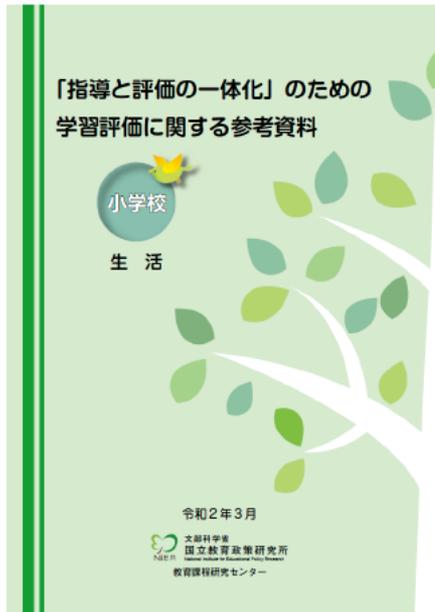


小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第1 目標

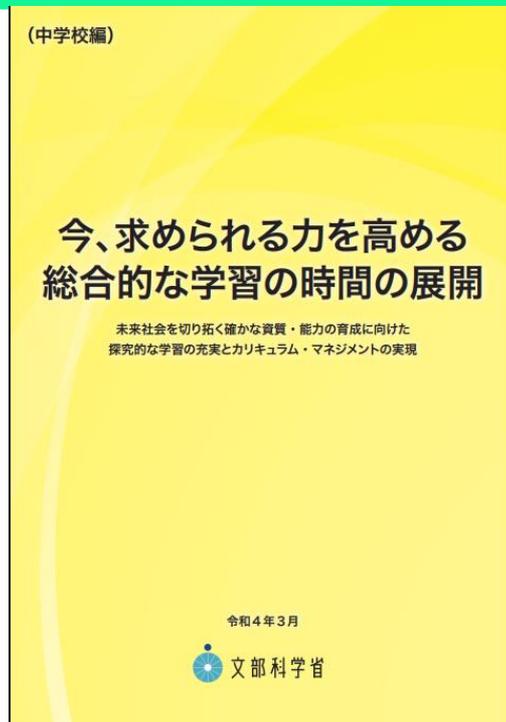
中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料



今、求められる力を高める総合的な学習(探究)の時間の展開



今、求められる力を高める総合的な学習(探究)の時間の展開

(小学校編)

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開

未来社会を切り拓く豊かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の実践とカリキュラム・マネジメントの実現

令和3年3月
文部科学省

(中学校編)

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開

未来社会を切り拓く豊かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の実践とカリキュラム・マネジメントの実現

令和4年3月
文部科学省

(高等学校編)

今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開

未来社会を切り拓く豊かな資質・能力の育成に向けた探究の実践とカリキュラム・マネジメントの実現

令和5年3月
文部科学省

事例⑬ リモートインタビューから情報を収集する

すぐに話を聞きに行ける距離ではない相手には、リモートインタビューで情報を集めることができます。画面越しに間近で表情を見たり、声を聞いたりしながらインタビューできるだけでなく、相手の理解を取った上でインタビューの録音や録画も可能で、デジタル情報として蓄積することもできます。

【ポイント】

- ICT環境の確認
 - ・カメラ付きパソコンやタブレット型端末などが整っているか確認する。
 - ・Wi-Fiなどの通信環境が整っているかを確認する。
 - ・インタビューを行う相手先のICT環境も事前に確認する。
- 質問事項等の事前連絡
 - ・事前にどのような質問をするか相手に知らせておくことスムーズに取り組める。
 - ・質問をしていく中で、新たに聞きたいことが出てくる場合もあることを事前に伝えておく。
 - ・通信状況がよくない場合や固まった場合にどのように対応するか事前に確認しておく。

実践例 リモートインタビューでの情報収集



事例⑧ 街頭インタビューで不特定多数から情報を収集する

インタビューのポイントをおさえた準備を計画的に行うことで、様々な立場の人から多様な考えを直接得ることができます。

実践例 街頭インタビューによる情報収集



〈インタビューの手順の例〉

- (1)自己紹介をする。
- (2)インタビューの目的や方法に関して説明し、インタビューへの協力についての承を得る。
- (3)インタビューを始める。
- (4)インタビューを終え、謝意を伝える。

【ポイント】

- インタビューの対象の検討
 - ・インタビューする対象や、回答の目標数などを事前に決めておく。
- インタビュー目的の明確化
 - ・何を知るためにインタビューするのか自ら説明できるようにしておく。
- 質問内容の吟味
 - ・事前にインタビューメモを作成し、質問内容を吟味する。
 - ・聞きたいことを端的に表し、答えやすい質問を用意する。
- インタビューを行う際の留意点
 - ・相手の表情や話し方なども貴重な情報になるため、必要に応じて写真や動画で記録することも考えられる。その際は相手の許可を得るようにする。
 - ・疑問点はその場で確認する。

事例⑨ 街頭インタビューで情報を収集する

目的に合わせて、インタビューの準備を計画的に行うことで、様々な立場の人から多様な考えを直接得ることができます。チェックリストを活用して取材の準備を行うことも有効です。街頭インタビューでは、フリップボードを提示することで、短時間で多数の人から回答を得ることができます。

実践例 フリップボードを提示した街頭インタビューによる情報収集



チェックリストの例	チェック欄
①インタビューする対象や、回答の目標数などを事前に決めている。	
②インタビューの目的が説明できる。	
③質問内容が整理されており、相手が答えやすい質問を用意している。	
④質問者や記録者などの役割を決めている。	
⑤記録用紙やカメラ、フリップボード等の取材道具を準備している。	

〈具体的なインタビューの手順〉

- ①自己紹介をする。
- ②インタビューの目的や方法に関して説明し、インタビューへの協力についての承を得る。
- ③インタビューを始める。
- ④インタビューを終え、謝意を伝える。

【ポイント】

- 探究の過程の高度化
 - ・国語科における異なる世代の人や初対面の人にインタビューする活動を通して身に付けた資質・能力を効果的に活用する。
- インタビューを行う際の留意点
 - ・相手の表情や話し方なども貴重な情報になるため、必要に応じて写真やタブレット端末を使用して動画で記録することも考えられる。その際は相手の許可を得るようにする。
- フリップボードの提示
 - ・フリップボードは、「質問内容を端的に表す」「答えやすい質問にする」といった視点で作成する。また、集計表を盛り込んでおくことで数値化した情報を収集できる。

令和4年度学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 児童質問紙調査では、前回調査で課題とされていた「整理・分析」「まとめ・表現」は、今回調査では、肯定的な回答がそれぞれ70%以上である。
- 「課題の解決に向けて、友達や地域の人と進んで関わっている」ことについて肯定的な回答が70%を下回っており、他より低い傾向にある。
- 教師オンライン質問調査では全体的に肯定的な回答が80%以上であるが、資質・能力の育成に向けた指導計画の位置付けや指導と評価の一体化に関する質問では「そうしている」という回答が30%を下回っている。
- 4年生以上の児童においては、「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程について肯定的に回答している児童と多くの教科のペーパーテストの平均通過率等との相関が見られる。
- 総合的な学習の時間の全質問項目と共通質問における自己肯定感、協働、粘り強く課題に取り組む態度に関わる質問との相関が見られる。

○指導上の改善点

- ①よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために**指導と評価の一層の充実**を図る。
- ②課題の解決に向けて、他者と協働して主体的に学ぶことや、**地域と連携した学習活動を積極的に取り入れること**を促す。